

寄稿エッセー

前、どんな思想を浴びていらしたのだろう。そこが知りたくて、2年前からサンスクリット語をかじつている。コロナ様のお蔭で、インドのアシュラムで、ペニ二文法を教えるミチカさんという日本人女性から、オンラインで毎週末のべ6時間、教えていただく機会に恵まれている。

ミチカ先生いわく、「ヴェーダはインド人でなくとも、何教徒でも、人間であれば誰でも学ぶことができます」。

ヴェーダそのものは師から口伝で学ぶべきもので、オンライン講座にはそぐわないでの、ヴェーダ思想が織り込まれているシヨローカ（古典詩）やラーマーヤナを文法解説とともに詠唱しながら、思想の一端を学んでいる。

このヴェーダ思想のなかには、梵我一如も、三毒（ペーパ）が過ぎてはダメということも、この世が欲を驅り立てる実体のないもの（マーヤー）で満ちていることも、私たちは何も学ばず（＝智慧なく）しては真実が見えていないといふことも含まれている（次回

釈尊は宗教創始を考えなかった!?

いま、何教徒でも学べる教元

中に、「こつすることをす  
るよではバラモンとはい  
えない」という表現が頻出  
しているのだから、バラモ  
ン教の信仰を捨て去り、斬  
新な教えを一から説こうと  
されたのでないことは、明  
らかなのではないか。

むしろヴェーダの思想  
を、四つの階級をもつイン  
ド人のみならず誰にでも、  
ナニ人にも説けるように  
したのが仏教の発端だった  
のかもしれない。

坐禅や瞑想が世界的なブ  
ームとなり、精神修養とし  
て多くのキリスト教徒、ユ  
ダヤ教徒、イスラーム教徒

を浸透させようとするなら  
ば、宗派の教えや特定の経  
典からいったん離れ、「何  
教徒でもできる」ところか  
ら説き直すのがよいのかも  
しれない。

大手書店では十数年来、  
仏像写真集が平積みの大人  
気。スマートフォンの待ち  
受け画面専用の仏像写真配  
布サイトまで存在してい  
る。仏像人気に象徴される  
通り、「釈尊の教えにふれ  
たい」と願う市民は多い。  
宗祖さまの教えを乞う人上  
りも、おそらく何十倍も多

釈尊はお城を出られる  
前、どんな思想を浴びてい  
らしたのだろう。そこが知  
りたくて、2年前からサン  
スクリット語をかじつてい  
る。コロナ様のお蔭で、イ  
ンドのアシュラムでパニ  
ニ文法を教えるミチカさん  
という日本人女性から、オ  
ンラインで毎週末のべ6時  
間、教えていただく機会に  
恵まれている。

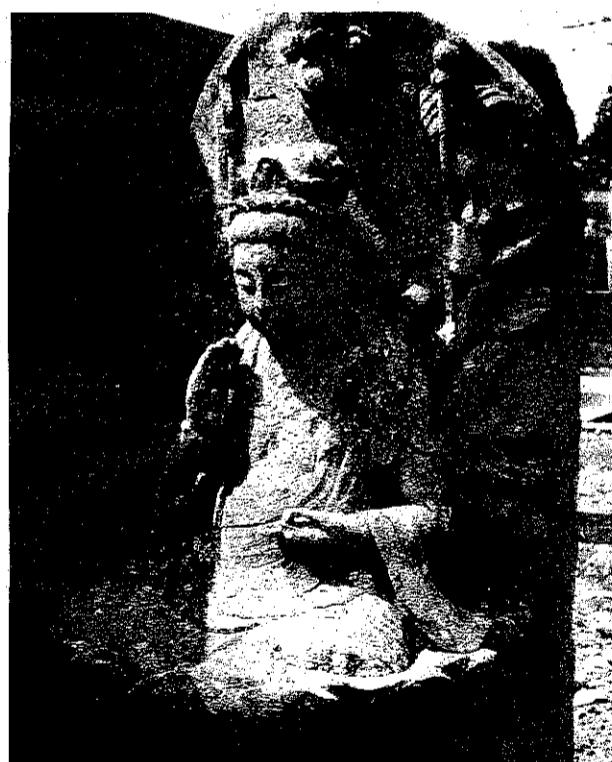
て述べる「中道」といふ著えこそが、釈尊オリジナルだ)。

◆第1回◆

も取り組んでいる。鎌倉建長寺で外国人向けの坐禅指導をされていた知人僧侶は、「この部屋は、イスラーム教徒とユダヤ教徒がひとつ置の上でともに坐禅を組んで、世界唯一の易筋」。

すぐれ・けいこ氏=1965年、東京都出身。国際基督教大教養学部卒(仏教思想史専攻)。著書に「心が軽

くなる仏教とのつきあいかた』『いいお坊さん ひと  
いお坊さう』など。各地の僧侶研修に携わる。



衆生の惑業を破り  
諸願かなえる觀音

准胝觀音は梵名の「チユンティー」の音写で、准胝仏母とか七俱胝仏母とも呼ばれている。七俱胝仏母とは過去無量の諸仏の母との意味で、觀音と呼ぶのは適当でないとの説もある。しかし、真言宗では、觀音の一つとして信仰されてきたことから、觀音と呼んでもいいのかもしれない。

また、天台宗では准胝に代わって不空羂索にかわるが、准胝と不空羂索を加えて七觀音としている。

准胝觀音の像容を經典の中に見ると、三眼十八臂を通形とし、八臂の場合はもあり、胸前の二手が施無留説法印、第二手が施無留印と説かれている。

准胝觀音の像としては、西国三十三所觀音の第十一番醍醐寺、秩父三十四所觀音の第五番長興寺、そして富山市の大川町にもその作例が知られている。

准胝觀音の像容を經典の中に見ると、三眼十八臂を通形とし、八臂の場合はもあり、胸前の二手が施無留説法印、第二手が施無留印と説かれている。

准胝觀音の像としては、西国三十三所觀音の第十一番醍醐寺、秩父三十四所觀音の第五番長興寺、そして富山市の大川町にもその作例が知られている。

## 野の仙を訪ねて

曹洞宗西光寺は旧名  
大安寺といい、応仁の乱の後  
の文明年間に創建された。山門を入った左  
墓地が広がっている。

そして、それぞれの手  
には宝剣、斧、鉤、輪、和九年九月十一日亡  
蓮華、数珠、錫杖、経、幼いわが子を亡くした  
鏡、手賢瓶、羅索、跋折、親が子の冥福を祈つて墓  
羅、水瓶といった物を執 石に准胝響音を迎えたの  
手に それでいる。 であろう。

の清浄さを表すともいわれる。また、人間界に至る限り、一切衆生の惑業を破り、延命、除災、子授けといった諸願をかなえてくれる観音として信仰されて

准胝龕音とはおもに聞  
き慣れない観音である。光背の中  
央に浮き彫りさ  
れた坐像で、像高は約30  
cm。手は説法印を結び、  
蓮華座に坐し、十八臂で  
基壇には波頭が刻まれて  
いる。

A map of the area around Fujiyama Station. The station building is marked with a square symbol. A dashed line indicates the path of the railway line. The text '富山' (Fujiyama) is written near the station building.

A map of the Shin-Tomei Expressway in Japan. A red box highlights the area around Toyama IC (インターチェンジ). The river '神通川' (Shimotsuna River) is labeled on the left side of the expressway.

(富山市中布目・西光寺)

准胝觀音像



## 寄稿エッセー

# 勝 桂子の 通仏教でいいこと!

◆第2回◆

仏教は、梵我一如などのヴェーダのエッセンスを背景に、四つの階級から離れ、バラモンでなくとも（インド人でなくても）学び説けるようにした教えであるといえる。結果、バラモン教ないしヒンドゥー教はインド以外の地域にひろまることがほとんどなかつたが、仏教思想は東アジアはじめ世界中へとひろまつた。

では、ヴェーダの教えにない、釈尊オリジナルの教えの神髄は何かといえば、「中道」だと思う。

ヴェーダは、パー・パ（よくなり行為）を減らし、ブンニヤ（善行）を増やしながら、善・悪という二項概念が存在している。ヴェーダの実践者も、悟りきつてしまえばすべてがバガヴァーン（人ならざる超越的攝理。赤塚不二夫『天才バカボン』のバカボンの語源ともいわれる）の仕業と観ずることができ、悪い縁起もまた善いことの前兆である。ようて総体的に捉えるので、到達点においては善悪不二となると思う。しかし、釈尊が善悪分け隔てる

ことを積極的に排除し、中央値でも平均値でもない「よきところ、ほどほど」を見極めよと説かれたのは

仏教独自の特徴だろう。私は行政書士なので、寺院の規則変更や墓地許可の申請を行うことが多い。その際、「お寺（あるいは宗派）の常識」と「行政庁が求める法令基準」との間に差異や温度差があるため、宗教的理解と法令基準との間の通訳のような役割を果たすことになる。

## 「中道こそ仏教の神髄」

たすことになる。

ご住職は、はじめて清廉潔白であろうとなさるかたりの線で守りつつ、網の目が多いので、「できる限りからこぼれてしまった人を法令遵守してきちんとしたい」とおっしゃるのだが、ガチガチに法律を守ろうとすれば宗教者としての直觀的で迅速な活動が阻まれる。住職のほうが、宗教者としてもなる。だから、ホドホドの中道を探ることが必要なのだ。

宗教法人法によれば、各寺の規則に「予算、決算及び会計その他の財務に関する事項」を明記することとなつていて（宗教法人法第12条第1項第8号）。つま

り、他の公益法人等と同様に、毎年予算・決算を責任役員会で承認してもらうのが正しく、大きく予算からズレた支出を行つような場合には責任役員会議を開いて補正予算を組むなり、予備費を充当するための承諾を得るべきである。

だがそれでは、たとえば地域で災害が起こった場合、宗教者としてすぐさま

金やら帰宅困難者のための貸し布団を手配したく

も、責任役員会議を開かなれば決定できることと

なり、ほんらい寺院に求められるべき「行政の手が届かないところの支援」が硬

（行政書士・葬祭カウンセラー）

## 寄稿エッセー

勝 桂子の  
通仏教でいこう。

## ◆第3回◆

ある宗派の僧侶研修に登壇させていただいたとき、M・K・ガンディーの不服従・非暴力の思想を紹介したところ、「ガンジーはヒンズー教でしょ? 仏教の研修なんだけども」と指摘されたことがある。

その御仁は、釈尊の生涯と思想を描いたエドウイン・アーノルドの『アジアの光』をガンディーがバガヴアッド・ギーターと同様に愛読していたことを存じて、M・ウェーバーの『ヒンドゥー教と仏教』も読まれたことがなかつたと思われる。

そもそも、仏教の研修だから他宗教の話は聞きたくない、すべきでない、という感覚はどうから来るのだろうか。前回までに「仏教はヴィンダの思想を、4つのカーストがないエリ亞でも受容できるよう翻案したもの」だったのではないかと解説してきた。今回は、仏教が宗教の枠組みを超えてひろく理解される思想であることを聞いて、さらに深掘りしてみたい。

ガンディー記念館の元館長S・ラーダクリシュナン博士は著書『ゴータマ・ブッダ』のなかで、「ブッダ

## 宗教を線引きしない広い視野

日本仏教寺院では、宗派間の意見交換さえ稀にしかおこなわれていないが、日本のお坊さま方にももつともつと、別な宗教を知ることで、仏教のよさを再発見していただきたい。私は10年近く前に、主宰・ラマ師がキリスト者や科学者と語らい、瞑想の科学的根拠を裏付けようとする任意団体ひととみで「イスラーム教を学ぶ」という勉強会をしたことがある。日本人ムスリムのナセル永野氏をゲストに、イスラーム教の考え方の基本を学んだ。

2時間ほどのレクチャーが終わると、参加された各宗派の僧侶・神職のほぼ全員が口をそろえ、「イスラーム教と仏教は、ほとんど同じだった!」と目を輝かせておっしゃった。

参加された皆さんには、もとより自殺対策などの活動で宗派を超えて対話をすることに慣れていらっしゃる。行政書士・葬祭カウンセラーのなかで、「ブッダ

の教えの中には、教義とない。(中略)(ブッダは)広い見解を持つて、批判を抑えこむことをしなかつた。ブッダは、不寛容は宗教の最大の敵と考えた」と述べている。

日本仏教寺院では、宗派間の意見交換さえ稀にしかおこなわれていないが、日本のお坊さま方にももつともつと、別な宗教を知ることで、仏教のよさを再発見していただきたい。私は10年近く前に、主宰・ラマ師がキリスト者や科学者と語らい、瞑想の科学的根拠を裏付けようとする任意団体ひととみで「イスラーム教を学ぶ」という勉強会をしたことがある。日本人ムスリムのナセル永野氏をゲストに、イスラーム教の考え方の基本を学んだ。

## 宗教間対話のススメ

それは、釈尊の教えが祖國インドでは一度滅びたもの、東アジア全体へひろまっていった歴史と重なって、感動をおぼえずにはいられない。ダライ・lama14歳にして背には竜を負い、竜の頭は宝冠の上に出ていた。台座には「岩名村講中 拾三人」の刻字があるが、紀年銘等はない。

## 八大竜王の統領で単体で唯一の作例

八大竜王は法華経の会座に列した護法の童神であるが、広くは水神とされる絶大な力を持つた神の一つであり、またその統領でもある。

八大竜王の造像もねずみ2例のみだが、文字塔はなく、八大竜王と刻んだ文字塔が1基、埼玉県集経の中にその尊名がある。

難陀竜王石像の单体としてはこの像以外に管見の限りではない。ただ、か2例のみだが、文字塔はなく、八大竜王と刻んだ文字塔が1基、埼玉県集経の中にその尊名がある。

## 難陀竜王石像

(千葉県野田市岩名1丁目)

千葉県野田市  
岩名1丁目

江戸川河川敷  
運動広場



宝珠を盛った盆を捧げ持つ難陀竜王石像

## 野の仏を訪ねて

## 八大竜王の統領で

八大竜王は法華経の会座に列した護法の童神であるが、広くは水神とされる絶大な力を持つた神の一つであり、またその統領でもある。

八大竜王の造像もねずみ2例のみだが、文字塔はなく、八大竜王と刻んだ文字塔が1基、埼玉県集経の中にその尊名がある。

難陀竜王石像の单体としてはこの像以外に管見の限りではない。ただ、か2例のみだが、文字塔はなく、八大竜王と刻んだ文字塔が1基、埼玉県集経の中にその尊名がある。

難陀竜王石像の单体としてはこの像以外に管見の限りではない。ただ、か2例のみだが、文字塔はなく、八大竜王と刻んだ文字塔が1基、埼玉県集経の中にその尊名がある。

難陀竜王の造像もねずみ2例のみだが、文字塔はなく、八大竜王と刻んだ文字塔が1基、埼玉県集経の中にその尊名がある。

## 寄稿エッセー

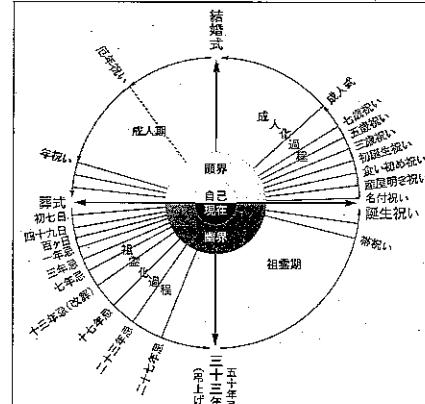
勝 桂子の  
通仏教でいいじつ

◆第4回◆

今回は、日本仏教の特殊性を、海外の仏教との比較から考えてみたい。

日本では、僧侶の大半は土曜日曜に回忌法要の依頼をこなすことで寺院運営を維持しているイメージがある。サラリーマンや公務員との兼業が成立するのも僧侶への読経依頼の多くが土日の法要時に集中しているからであろう。

日本仏教の中心行事とも思えるこの回忌法要は、実はアジアの他の仏教国ではなく、日本仏教独自のものだ。中国や台湾、ミャンマー、タイの僧侶にも聞いてみたが、存在しないのだ。葬祭カウンセラーの資格を取得するときに受けた講義によれば、回忌法要是、日本人が仏教伝来前からもつていた死生観を仏教にも取りいれた結果だという。



いことに、ほぼ同時期に南ルートと北ルートの仏教が伝わったベトナムでは、念佛も坐禅も行き、浄土教と禪の融合が起こっていたりもある。

日本でも、春秋の田植えと収穫時にお天道さまへ祈

て定着するなど、回忌法要のほかにも、他国にない催名づけ。ひと月半ごろ初富詣り。百日目に食い初め。1年で初誕生。七五三を経て13歳で元服（成人）……というように、時計の短い針が9時を指す位置まで生涯が続く。

死後は昼夜逆転、衣の合われ直しの半生が始まる。このフレーズは、一対一の関係から一歩引いた広角の視野で因果をとらだ。ゆえに、七日目、四十九日、百箇日、一年、三年、七年、十三年……と生きているときと同じ節目で弔いをする。三十三年もすればあの世でも立派な大人だから、多くの寺院では「弔い上げでよいだらう」とされるわけだ。

佛教は、各地域の土着の宗教とうまく融合しながら東アジア、南アジアへとひろく伝播した。ご存じのとおり南伝と北伝では別の宗教といえるくらいに違った内容になつてゐるし、面白

（行政書士・葬祭カウンセラー）

## 日本仏教は神仏習合教

の人間関係から一步引いた視野で因果をとらえ、人を恨まず、境遇を恨まず、大いなるものへと責任を棚上げしてくれる。つまり、仏教の因果論とも符合する。大日如来といわずあえて「お天道さま」と表現することで、宗教や教化といふと拒否反応を示す人々の心をとらえることがで

きるのであれば、神仏習合大きいOKではないか。もとより、お彼岸や回忌法要といった重要な行事も、神道ルーツであったかもしれないのだから。

## お天道さまが見ている

## 寄稿エッセー

あの世の存在を、心底信じていらっしゃる宗教者の割合はどれくらいだろう? 仏に救われたという実感のないまま僧籍を得て、宗教法人あるいは墓地の管理者として給与を得ていらっしゃる方も、かなりの割合にのぼる。発心がなくても宗教者になれる時代背景自体また、仏縁なのだろう。葬祭カウンセラーとして終活セミナーなどで「弔いをしたほうがいい理由」を説明するとき、私は次のようにお話ししている。

『サピエンス全史』などの著者ユヴァル・ノア・ハラリ氏がおっしゃる通り、われわれホモ・サピエンスは他のサピエンスにない想像する力を持ってしまつた。それがゆえに文明もこれほど発展したわけだが、その力は死別のあとのかたちを混乱させる。「あんなに素晴らしいことを言ってくれたあの人は、もうこの世にいない」と、眠れなくなったり、仕事が手につかなくなったりする。記憶があるために、代替のきかない大切な相手の非存在に気が持つのだ。これに対応

## 不安解消こそ宗教者の使命

度。集合住宅では4~5世帯に1世帯である。生まれたときからご先祖さまで祈る習慣のない人たちの多くは、コロナ感染防止を理由に回忌法要をとりやめた。一時的にやめたのではない。それまで「親戚の手前」「親がせつから続けてきたから」「なんとなく」災害頻発、風水害巨大で継続してきたが意味が感じられない状況が続いているのに人々が供養をやめてしまふことには至難の業だ。

しかし、「記憶や想像が目の前の事象と乖離するとき、われわれは混乱する。そこで、「あの世にいる」と対話できる」と信じて祈れば落ち着くことができる。講演の序盤では「私の葬儀にお金はかけたくない」「僧侶は呼ばず直葬でいい」と言っていた人々が「こんど恩子夫婦を呼んでじっくり話します」「孫たちも含めて、お墓のことを考えてみます」と、考えを転換してゆく。いまやお仏壇を置く家庭は、戸建ての場合で半数程度にたい、働きたいのに死

### 「あの世」を語るべき理由

相談サイトbasunohaを運営する堀下剛司氏は「苦悩に直面し、もがき苦しんであります」と、話をしてきました。人が、僧侶のひとことでようやく救われ、吐落ちしたとき、はじめて仏教のよさを知る」と語る。

### ◆第5回◆

しかし、「記憶や想像が目の前の事象と乖離するとき、われわれは混乱する。そこで、「あの世にいる」と対話できる」と信じて祈れば落ち着くことができる。講演の序盤では「私の葬儀にお金はかけたくない」「僧侶は呼ばず直葬でいい」と言っていた人々が「こんど恩子夫婦を呼んでじっくり話します」「孫たちも含めて、お墓のことを考えてみます」と、考えを転換してゆく。いまやお仏壇を置く家庭は、戸建ての場合で半数程度にたい、働きたいのに死

# 勝桂子の通仏教でいこう!